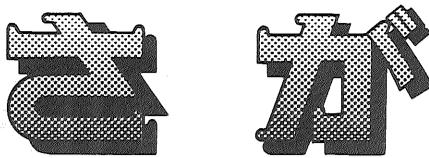


国民年金の保険料

本年4月から月額4,500円に改定されます。付加保険料は月額400円です。
くわしくは保険年金課年金係(☎②3151内線385)へどうぞ。

市報

No.542
昭和56年

3月号

(毎月1日発行)

発行所 佐賀市役所(電話代表②3151)
〒840 佐賀市神野町331番地の3

編集人 総務部長

	前月比	
人口	165,912人	+128人
男	79,444人	+ 92人
女	86,468人	+ 36人
世帯	52,234	+ 32

総参加で河川浄化

佐賀市水対策市民会議

川を愛する週間を制定

3月と9月に、川の日も

佐賀市水対策市民会議(竹下亮一会長、三十人)の第三回総会が二月十日に市役所会議室で開かれました。総会でモデル水系の大覺寺井樋水系と木下井樋水系の両代表者から浄化対策の取り組みの説明があり、その後、春(三月)と秋(九月)に「川を愛する週間」を制定し、期間中に「川の日」を一日設けることを決めました。川干(かわひ)に合わせて、河川やクリークを清掃し、市民の総参加で昔の清流を取りもどしましょう。

川さらえに精を出す青年会議所のみなさん
(55年10月)

川の流れを実態調査

大覺寺と木下水系

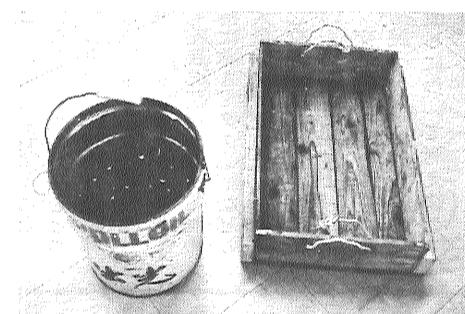
モデル水系に指定された大覺寺井樋水系と木下井樋水系で、一月に河川浄化対策連絡協議会が発足し、市民会議の総会で、二水系の両会長から、一月末から二月にかけての実地調査と、三月の川を愛する週間に向けての取り組みなど、昔の清流を取り戻すため、全部

木下水系の場合、まず多布施一丁目の取り入れ口の底があがっている、願正寺付近までは水量はあるが、その先から東佐賀町までは流れがわるい、途中は水路が狭くなっているなど二十

八ヵ所がありました。これらは、地域住民で解決できるものは地元で、できないものは市でやることになります。川の実態が調査でき、たなびがそのままだつたり、木が倒れていりなりました。

木下水系の場合、まず多布施一丁目の取り入れ口の底があがっている、願正寺付近までは水量はあるが、その先から東佐賀町までは流れがわるい、途中は水路が狭くなっているなど二十

八ヵ所がありました。これらは、地域住民で解決できるものは地元で、できないものは市でやることになります。川の実態が調査でき、たなびがそのままだつたり、木が倒れていりなりました。



汚泥いれにグッドアイデア

川からあげたゴミや汚泥が、雨などのために流れたり、道路いっぱいに広がるのを防ぐため、トロ箱か石油カンに入れて、回収するときまで道路わきに置いておくというアイデアが披露され好評です。

トロ箱は側面と底に板を打ちつけて補強したもの、石油カンは側面と底に穴をあけて、水きりを自然にやろうというものです。お試しください。お問い合わせは河川課(☎②3151内線372・373)へ。

省エネルギーの時代です。
『婦人電気教室』へどうぞ!!
ご家庭で上手に電気をお使いいただくためには、ちよつとした電気の知識が大変お役に立ちます。

ただし、第26期の会員募集をおこなっておりますので、お気軽にお申し込みください。

九州電力よりお知らせ

申し込みの方法

つぎのどちらかを電話でお申し込みください。

●午前の部(10時~12時)
●午後の部(13時30分~15時30分)

●会員費: 無料
●募集締切: 4月20日(月)

●期間: 6ヶ月間……(5月開講)

●趣味の会実費入会
(陶芸・七宝焼・ろうけつ染・園芸)

●施設見学会の実費案内
(一泊一日)

●河川の浄化にと
二百万元を寄贈

佐賀中央ライオンズクラブ
(高尾文明会長、八十六人から創立十五周年を記念して、昨年、河川浄化対策費として、市に百五十万円が寄贈されました。

さらに、川の清掃に役立ってくださいと、プラスチック製のボート二隻、ジョンレンガンツメの各百二十本など五十万円相当が、二月に市へ贈呈されました。ありがとうございました。



佐賀市松原町一丁目二の三五
商工会館一階

九州電力佐賀サービスセンター
電話(24)二一五一(代表)
(23)四七〇八(直通)

